

札幌発 新千歳空港着 フェリーで行く

北前船の研究と地域活性化に取り組む

4日間

高野 宏康さん (小樽商科大学 客員研究員・北前船研究活用ネットワーク代表) と行く

北前船をたどる旅〈青森編〉

歴史探訪

新コース

ツアーコード/JB12751

旅の
ポイント

★北前船寄港地であった青森県の深浦町、鯉ヶ沢町、野辺地町をめ

ぐります。北前船の歴史に出会う旅の第四弾です。
★全国の北前船寄港地・船主集落を調査している小樽商科大学の客員研究員博士の高野宏康さんが同行。それぞれの町では現地ガイドが北前船についてお話しします。

出発日

10月6日(月)

■旅行代金(大人おひとり様)

3名様1室	2名様1室	1名様1室
126,800円	129,800円	149,800円

■添乗員同行(全行程)

■食事/2朝食・3昼食・2夕食付

■最少催行人員/15名様

■利用バス会社:じょうてつバス、弘南バス

ご宿泊ホテル

1日目/新日本海フェリー らいっくまたはゆうかり(ツーリストA)

2日目/鯉ヶ沢温泉: ロックウッドホテル 和室または洋室利用(バス・トイレ付)

3日目/まかど温泉: 亀の井ホテル青森まかど 和室利用(バス・トイレ付)

※ご希望のお客様は、往路フェリー「デラックスルームA(テラス付きツイン個室/バス・トイレ付)」

「ツーリストS(1名様1室/バス・トイレ無し、部屋入口はカーテンになり施錠はできません)」での利用も可能です。

お申し込みの際、係員にお申し出ください。

■追加代金(洋室利用・おひとり様)

デラックスルームA: 1名様1室: 13,000円/2名様1室: 11,000円(3名様1室は不可)

ツーリストS: 1名様1室: 3,000円(1名様1室のみ)



新日本海フェリー・デラックスルームA



新日本海フェリー・ツーリストA



常夜燈公園と みちのく丸 (野辺地町)

江戸時代に盛岡藩の港町として発展した野辺地。北前船の歴史、文化を伝えるために建造された復元船・みちのく丸が展示されています。



白八幡宮絵馬群 (鯉ヶ沢町)

津軽藩の海の玄関としてにぎわった鯉ヶ沢。北陸や瀬戸内海、大阪からの船が日用品、京や大阪の文化などを運び、また、藩米を大阪に積み出す御用港として栄えました。

日程	行	程	食事
1	※乗車地をお選びください 道新ビル前16:20集合・16:30出発==== JR南千歳駅北口ロータリーバス停付近17:20頃==== 苫小牧東港フェリーターミナル19:30発~~~~船中【泊】		× × ×
2	~~~~秋田港7:35着====男鹿半島●寒風山展望台(四つ爪のイカリ)〈40分〉====深浦町【●円覚寺(珍しい髷額くまげがく)を見学]〈40分〉、○風待ち館〈40分〉、○港の一本杭〈15分〉]====鯉ヶ沢町【●白八幡宮(北前船主が奉納した船絵馬、玉垣など)〈40分〉、○町歩き(菓子舗やかつての雰囲気をご案内)〈50分〉]====鯉ヶ沢温泉17:00頃【泊】 ※夕食はホテルでバイキング		× 星 夕
3	鯉ヶ沢温泉9:00頃==鯉ヶ沢町○天童山公園〈20分〉==青森市【●北のまほろば歴史館〈50分〉、●八甲田丸〈50分〉、○青森県観光物産館アスパム(お買い物)〈40分〉]====野辺地町【●歴史民俗資料館〈60分〉]====まかど温泉17:00頃【泊】 ※夕食はホテルでビュッフェ		朝 星 夕
4	まかど温泉9:00頃=野辺地町【●野辺地八幡宮〈40分〉、○旧野村家住宅離れ〈40分〉、○常夜燈公園(みちのく丸、灯籠)〈40分〉など。北前船ゆかりの昼食]====青森空港-->新千歳空港17:15着		朝 星 ×



日本遺産



KITAMAE BUNO